

昨今、我々の住む乙訓地域を含む一般社会では、年々核家族化が進んでいる影響により、祖父母やご近所の方々が子どもを叱る事や自身の体験を語り道徳心を学ぶ機会が減っています。一般社会で指摘されている青少年問題は、子ども達だけの責任ではなく我々大人のモラル低下が多くの原因を占めている事を理解し、意識を変えていく必要があります。

乙訓青年会議所では、設立当初より先輩諸兄が未来を担う子ども達に夢を与え、乙訓に愛郷心と誇りを育て欲しいと願い、青少年育成事業にご尽力してこられました。我々はその想いを引き継ぎ、子ども達に豊かな人間性を育む環境を整え、体験してきた道徳心を言葉ではなく背中を見せ教える事で、子ども達に良い影響を与えられると考えます。また、子ども達と目線を合わせ真剣に向き合う事で、子ども達の考えを心から理解し「他者への思いやり」や「生命尊重・人権尊重の心」という道徳心を学ぶ機会の創出に繋げる必要があります。そして、我々大人がモラルを持ち、手本になり憧れられる大人になる事で、青少年の健全な育成に発展し「明るい豊かな社会の実現」に繋がると考えます。

ケイジャーズカップでは、将来地域のリーダーとなる青少年を長期的にサポートする事を目的に、大会の実行委員会と連携し、青少年の夢の実現に尽力致します。3月例会では、未来を担う子ども達と真剣に向き合う憧れられる大人を目指し、大人が子どもとの関わり方を学ぶ事が出来るオープン例会を開催し、大人が改めて道徳心を考える設えに致します。乙訓文化少年団では、年9回の開催を通して学校や家庭とは違った地域交流の場で「他者への思いやり」の心を育み、保護者の方々も一緒に参加したくなる様、毎回事業の意味を考え、楽しみながら人間関係を形成出来る設えに致します。第13回目を迎える乙訓ふるさとふれあい駅伝では、子ども達が沿道や地域の温かい声援を受けながら走る事で、責任感と連帯感を感じると共に愛郷心を育める様、実行委員会と連携し、競技に集中出来る環境を整えます。そして、青少年育成事業で未来を担う子ども達の健全な育成に努める事は、将来的な地域の成長に繋がります。子ども達に地域の方々と関わる場を設け、地域と共に成長出来る機会を提供する為に、まちづくり委員会と連携協力した事業を開催致します。そして、災害支援対策会議に積極的に推進協力し、防災教育も踏まえ、安心して住める乙訓のネットワークの構築に尽力致します。会員拡大運動は、メンバー全員の責務と考え積極的に会員拡大に努めます。

最後に、委員会メンバーには「質実剛健」の心で、事業を通し、強くたくましく成長して欲しいと考えます。また、私自信が先頭に立ち、メンバー全員が率先して行動出来る環境を整える事でメンバーの絆の構築を図ります。そして、子ども達に背中をみせられる様、委員会メンバーと共に道徳心を持った憧れられる大人になり、未来の地域を輝かせる愛郷心と誇りを持った子ども達を育む為、全力で活動して参ります。